様式３(2020.06改)

作成日　令和　２年　８月　３日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392500332
事業所名	認知症高齢者グループホームどんぐりの森

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	当事業所のほかに特別養護老人ホーム、小規模多機能型事業所が併設され、ともに地域密着型として地域と積極的に関わろうとしてきましたが、コロナ禍となり、演奏会をはじめとする行事は中止されています。それでも「密とならず、利用者とかかわらずに済む」地域緑化のボランティアグループは定期来訪を続けており、敷地内の緑化計画は順調に推進され、利用者も園芸クラブを通して中庭花壇で土に親しみ、散歩では色とりどりの花々で目を和ませています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	社会福祉法人向けに「理事会等、人が集まる機会を自粛しても良い」との通達があり、春日井市に電話確認を経て３月、５月の運営推進会議を中止していますが、今後は書面開催を予定しています。地域密着型の複合施設であることから、メンバーの専門性も高く、高齢者福祉に関心の高い人の意見交換の場とあってこれまでの開催が大変有意義であったことから、再開が待たれています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	市役所の意向に応えて複合施設全体で認知症カフェを運営しています。コロナ禍で3月は中止しましたが、6月は衛生面に配慮して再開しています。今後も状況をみての臨機な対応としていますが、グループホームでは利用者を誘って喫茶店に出かけるような心持ちで訪問しており、安価な手作りおやつと好みのドリンクで愉しんでいます。「喫茶、あるようね」と利用者も気にかけており、非日常として笑顔が増えて職員も嬉しく、大切にしたい取組みに育っています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	利用者の「歌が好き」「花が好き」といった要望には一つひとつ実現させることを旨としています。コロナ禍となる前には面会で家族意見を聞き取るようにしていたので、現在の電話での報連相には不十分さを感じ、一つの課題となっています。「どんぐり通信」では書面で活動の様子を届け、また簡便さには欠けるものの日用品はなるべく家族に買い出しをお願いして、事業所が購入代行せず、玄関先での顔合わせ程度でも関係継続が続くよう配慮しています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	―	―	―	―	―	×	○	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										